

## 職員による自己評価

## ① 環境面・体制整備

・職員の配置数についてどちらともいえないの回答が複数だった。

## ② 業務改善

・職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているが、今年度はコロナ禍であることもあり難しかった。

## ③ 適切な支援の提供

・支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。

・活動プログラムについては、コロナ禍で活動制限もあり固定化してしまっているところもある。

## ④ 関係機関や保護者との連携

・地域自立支援協議会等へは積極的に参加している。

## ⑤ 保護者への説明責任等

・コロナ禍なので保護者の集まりの開催を行わなかった。

・定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信している。

## ⑥ 非常時等の対応

・非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。

## 保護者による評価

18名回答

## ① 環境・体制整備

・スペースは十分に確保されている。18名

## ② 適切な支援の提供

・活動プログラム固定化しないよう工夫されているか。はい18名

## ③ 保護者への説明等

・日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解できているか。18名がはい。

・定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子供や保護者に対して発信しているか。18名がはい。

## ④ 非常時等の対応

・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。16名ははい。2名どちらともいえない。

・定期的な避難訓練は行われている。18名がはい。

## ⑤ 満足度

・事業所の支援に満足している。18名がはい。

## 事業所内での分析

## 【共通点】

- ・定期的な会報し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している。
- ・避難訓練の実施をしている。

## 【相違点】

- ・活動内容について固定化されない工夫。